|  |
| --- |
| 第２回　横浜市泉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会　議事録 |
| 日時 | 令和２年４月８日（水）　午後１時30分から５時50分まで令和２年４月10日（金） 午後１時30分から４時30分まで |
| 開催場所 | 泉区役所４階４ＡＢ会議室 |
| 出席者 | 【選定委員会委員】　委員長 村井　祐一 （田園調布学園大学人間福祉学部学部長・教授）　委員 　　　　石井　マサ子 （泉区民生委員児童委員協議会　会長） 泉　直子 （泉区地域子育て支援拠点すきっぷ 施設長） 伊東　宏信 （泉区障害福祉自立支援協議会　会長） 浦　恭子 （東京地方税理士会戸塚支部） 大貫　芳夫 （社会福祉法人横浜市泉区社会福祉協議会 会長） 角野　浩子 （横浜市泉区在宅医療相談室　管理者） 近藤　公康 （泉区介護支援専門員連絡会　会長）　　　　　　　　馬場　勝己　　　（泉区連合自治会町内会長会　会長）　　　　　　　　山田　いづみ　　（下和泉地区社会福祉協議会　会長）【事務局】　泉区福祉保健センター長　　　　　村田　二郎　泉区福祉保健課長　　　　　　　　斎藤　昌代　泉区高齢・障害支援課長　　　　　塗師　浩美　泉区福祉保健課事業企画担当係長　鈴　大佑　泉区福祉保健課事業企画担当　　　２名 |
| 欠席者 | 無し |
| 開催形態 | 非公開 |
| 議題 | １　審査方法について２　応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査３　指定管理者の候補者の選定４　連絡・確認事項 |
| 決定事項 | 指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に代わって指定候補者となる者（以下「次点候補者」という。）として、次のとおり、横浜市泉区長に報告することとする。１　横浜市上飯田地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者　　指定候補者：社会福祉法人　公正会次点候補者：応募者が１団体のため該当なし２　横浜市下和泉地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者　　指定候補者：社会福祉法人　横浜市社会福祉協議会次点候補者：応募者が１団体のため該当なし３　横浜市踊場地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者　　指定候補者：社会福祉法人　神奈川県匡済会　　次点候補者：応募者が１団体のため該当なし４　横浜市いずみ中央地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者　　指定候補者：社会福祉法人　横浜市福祉サービス協会　　次点候補者：応募者が１団体のため該当なし５　横浜市いずみ野地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者　　指定候補者：社会福祉法人　横浜市福祉サービス協会　　次点候補者：応募者が１団体のため該当なし |
| 議事 | １　審査方法について　（事務局）・応募団体のプレゼンテーション・面接審査の流れ及び採点・集計方法について説明した。　・選定方法について、最低制限基準を評価基準項目１～６までの配点（以下「小計」という。）の60％とすること、最低制限基準に満たない場合は再公募を行うことを再確認した。２　応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査(1) 事務局からの報告　　（事務局）・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。・本市（健康福祉局）が第三者機関に対して行った財務評価委託の結果を報告。併せて、税理士である浦委員から財務状況の評点及び理由について説明があった。・前期の指定管理業務の実績について報告。　(2) 質問内容等の共有　　（委員）　　 ・質疑応答の際の質問内容等について、委員間で情報共有を行った。　(3) プレゼンテーション及び面接審査　　　団体から、団体の概要、事業計画等について説明。その後、団体と委員の間で質疑応答を行った。ア　上飯田地域ケアプラザ　　　　社会福祉法人　公正会　　　　主な質疑応答　　　（委員）出張相談会では、何件くらい相談が寄せられているのか。また、民生委員との同行訪問は、どのような場合に行っているのか。　　　（団体）担当地域が南北一帯に長く、地域ケアプラザから遠いエリアがあるため、そのようなエリアには、自治会館や集会場をお借りして出張相談会を開催している。また、地域で行われるお祭りでもブースを設けてもらい、出張相談会を開催している。件数については、その時々により違うが、直近のいちょう団地のお祭りでは、お祭りが終了してもまだ列が途切れないような盛況ぶりだった。その他のお祭りでは大体５名程度のことが多い。民生委員との関わりについては、一人暮らし高齢者が多いエリアなので、何か問題があれば地域ケアプラザへすぐ連絡が入る体制ができている。民生委員の方から要請があった場合に同行訪問したり、居宅介護支援事業所において主任ケアマネジャーと民生委員で地域の課題について擦り合わせをするといったことをしている。　　　（委員）いちょう団地は外国籍の方が多いが、事業を進めていく中で何か気付いた点はあるか。　　　（団体）外国籍の方については、高齢になり介護が必要になってからの問い合わせが多い。また、外国籍の方のコミュニティが地域にあり、その中で解決できている課題が多い。実際に介護が必要になったときは、地域ケアプラザには外国語を話せる人がいないので、区役所と同行で訪問し、通訳できる親族などを介して本人の意向を聞いている。地域ケアプラザから話を聞いたらすぐに介護保険が利用できると思っている方が多いので、そのあたりをしっかり説明していくことが必要だと思う。外国籍の方の相談の件数については、まだそこまで多くはない。イ　下和泉地域ケアプラザ　　　社会福祉法人　横浜市社会福祉協議会　　　　主な質疑応答　　　（委員）「移動に関する支援」と「普段の暮らしを支える支援」の具体的取組と成果について教えてほしい。　　　（団体）「移動に関する支援」については、外出したいが足元が不自由で外出できない方に対して、近隣施設同士の連携を深めて、近隣施設の福祉車両を出し、外出の機会を担保する取組で、「下和泉のおでかけを考える会」という協議体を中心に行っている。行きたい場所があるから外出をするという考えの元、行きたい場所（下和泉ときめきポイント）を見つけてもらうことで外出支援をしている。「普段の暮らしを支える支援」の取組としては移動スーパーがある。１時間に１～２本のみバスが来る場所で、企業と地域住民が協力して、移動スーパーにより普段の暮らしを支えるとともに、民生委員がなかなか会えない方でも、移動スーパーが来ると出てきてくれることで、お声掛けができたり、逆に普段出てくる方が出てこない場合には、気にかけていただくなど、見守りの機会にも繋がっている。（委員）サロンなどで担い手が減っていると思うが、それについて取り組んでいることは何か。　　（団体）地区センターと合築であることが大きな特徴であり武器であると考えている。地区センターは比較的健康な人が多いので、地域ケアプラザにも興味を持ってもらいたい。地区センターで開催している「男の料理教室」を、介護予防の要素も含めて共催で開催することで、今まで地域ケアプラザに足が向いていなかった方を獲得していきたい。ウ　踊場地域ケアプラザ　　　　社会福祉法人　神奈川県匡済会　　　　主な質疑応答　　　（委員）職員の定着率が良いとのことで、法人独自の職員研修を多数実施したり、職員ごとに毎年個人育成計画書を作成して、目標を設定し、所長と検討しているとのことだが、このような取組が高い定着率と関係しているのか。　　　（団体）社会福祉法人の職員として必要なものについては、法人として様々な研修を実施している。それぞれの施設で必要なものは施設独自で研修を行い、踊場地域ケアプラザでは年に３回くらい施設全体の研修を行っており、職員の中で研修担当を決めている。去年は障害者施設の施設長のお話や弁護士の方の権利擁護の話などを扱った。他にもデイサービスの衛生関係の研修などそれぞれの部門で様々な研修がある。福祉の仕事は大変だと思うが、リーダーが職員の成長を心から願っているというのが根本にあり、リーダーと職員が成長実感を一緒に味わおうというのが職員のモチベーションになっていると思う。　　　（委員）障害児者支援について、今後の取組、課題を具体的に教えてほしい。　　　 （団体）過去に開催していた障害児余暇支援事業「いずみ寺子屋」のOB会として、高校生から二十歳くらいの方の「おどりば青年隊」という食事を一緒に作る障害児者の団体や、それよりもっと年上の方の「仕事頑張り隊」という作業所に行っているメンバーの会などを現在は行っている。これらの取組を通して気付いたのは、障害者の方が大人になってから作業所に行くようになっても、土日などでできることがいろいろとあると思っており、今年度は新しい障害児者支援事業を検討している。　　エ　いずみ中央地域ケアプラザ　　　　社会福祉法人　横浜市福祉サービス協会　　　　主な質疑応答　　　（委員）「和泉中央お出かけプロジェクト」では、小学校へチラシ配布などの情報発信をしており、地域ケアプラザとしては珍しい取組だと思うが、そのきっかけと効果を教えてほしい。　　　（団体）３、４年前から、小学生と一緒に地域を考えていきたいという思いがあり、他にも福祉教育などを行っている。地域活動交流コーディネーターが時々小学校を訪問し、先生との関係性を作り、随時情報発信をしている。結果として、地域ケアプラザに来る子どもやお祭りの参加者が増えた。また、総合学習の中で地域ケアプラザを使ってもらえることが多くなり、特にデイサービスでは小学生と利用者の方が楽しく交流している。認知症サポーター養成講座も毎年開催し、子どもが高齢者を見る目が変わってきたと感じている。　　オ　いずみ野地域ケアプラザ　　　　社会福祉法人　横浜市福祉サービス協会　　　　主な質疑応答　　　（委員）民生委員が長い間欠員だと思うが、そうなるとその地域の情報が入ってこないという問題があると思う。欠員の補充に対する手立てと、地域の情報が取れないことに対する対策を教えてほしい。　　　（団体）民生委員の欠員については、高齢者が安心して暮らすということを考えると、病気などが重篤になってから地域ケアプラザに情報が入ってくるという事態になることを危惧している。地域に足を運び、普段から顔の見える関係を作ることで、民生委員だけでなく、様々な地域の方からも情報を拾うことを考えており、民生委員だけに負担がかからないような役割を地域ケアプラザが担っていきたい。　　　（委員）令和元年12月から担当地域が変更になり、弥生台がいずみ野地域ケアプラザの担当地域となった。電車なら１駅だが、遠いと感じている方もいるようで、その面を配慮しながらエリアをサポートしていくようにしていただければと思う。　　　（団体）担当地域の変更後に弥生台の方にあいさつをしたとき、戸惑われていると感じた。できるだけ足を運んで、顔の見える関係と、相談があればいずみ野地域ケアプラザに来ていただくという関係性を作っていかなければならないと思う。やはり弥生台はいずみ野地域ケアプラザだという安心感をもってもらえるようにしていきたい。３　指定管理者の候補者の選定　　プレゼンテーション及び面接審査を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計した。　(1) 横浜市上飯田地域ケアプラザ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 応募団体 | 得点／満点（得点率） |
| 指定候補者 | 社会福祉法人公正会 | 小計 2,049／3,000点（68.3%）合計 2,114／3,150点 |

　　（審査講評）　　　担当地域は外国籍の方が多く言葉の壁の問題があること、高齢化率が高いこと、また３つの連合自治会町内会を担当していることなど、日頃から様々な苦労・工夫をしている点は共感できました。地域ケアプラザから遠い地域において、民生委員との同行訪問や出張相談を積極的に行うなど、適切な相談体制を重視している点は評価できます。相談とその結果が統計的な数字でわかるよう整理するとより良い相談体制に繋がると思います。外国籍の方については、相談をスムーズに受けられるようにする取組を引き続き進めてください。また、地域全体で外国籍の方の課題を解決していくという視点が不十分だったので、今後の検討を期待します。　(2) 横浜市下和泉地域ケアプラザ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 応募団体 | 得点／満点（得点率） |
| 指定候補者 | 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 | 小計 2,256／3,100点（72.7%）合計 2,346／3,250点 |

　　（審査講評）　　　担当地域の住民の意識が高く、それを地域ケアプラザが上手にまとめることで、相乗効果でより良い地域になっていると感じます。今後も「住民ファースト」の視点で取組を進めてください。　　　「移動スーパーぽかぽかマート」は素晴らしい取組ですが、今後は買い物だけに留まらず、見守り、支えあい、ちょいボラなどに繋げるための総合的なコーディネートをしていくことが大切です。　　　相談については、相談を受けたとき、相談内容やそれが解決されたかという実績をわかるようにしておくことが大事ですので、今後も情報の整理に努めてください。　(3) 横浜市踊場地域ケアプラザ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 応募団体 | 得点／満点（得点率） |
| 指定候補者 | 社会福祉法人神奈川県匡済会 | 小計 1,972／3,000点（65.7%）合計 1,962／3,150点 |

　　（審査講評）広い担当地域ですが、様々な地域の方と協力して、しっかりと地域に密着した運営ができています。今後も地域のニーズに合った事業展開を期待します。事業計画書等からは法人の理念が伝わり、アピールポイントも多くありましたが、プレゼンテーションでは地域特性に応じた具体的な取組への言及が不十分でした。　　　また、法人の強みである人材を活かし、例えば法人内の職員異動などにより、職場内に新しい風を入れることも検討してください。　(4) 横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 応募団体 | 得点／満点（得点率） |
| 指定候補者 | 社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 | 小計 2,227／3,000点（74.2%）合計 2,327／3,150点 |

　　（審査講評）マンションが多く、若い世代が多い地域であり、若い人も事業にうまく取り込みながら、多世代支援も行われています。「和泉中央おでかけプロジェクト」では、小学校や様々な機関をうまく巻き込んだ事業展開ができている点が評価でき、今後の取組に期待しています。また、障害児の支援事業では、実施日を変えるなど、親子のニーズに合わせた事業の見直しができています。「生活支援コーディネーター活動事例集」など、法人のスケールメリットを活かし作成した様々なツールについては、可能であれば公開し、市全体の地域ケアプラザで共有することで、地域ケアプラザ全体の底上げに繋げていただくことを期待します。　(5) 横浜市いずみ野地域ケアプラザ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 応募団体 | 得点／満点（得点率） |
| 指定候補者 | 社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 | 小計 1,989／2,950点（67.4%）合計 2,044／3,100点 |

　　（審査講評）　　　男性を対象とした取組については、模範となるものであり、評価できます。今後も引き続き他の地域ケアプラザの模範となる取組を期待します。　　　プレゼンテーションでは、イベントなどの大きな事業を中心に紹介していましたが、相談・支援など、個々の方々へのケースワーク等についても重視してほしいと思います。　　　開所して３年半が経ちましたが、法人のノウハウを活かしつつ、これからも時間を掛けて少しずつ地域に入り込んでいくことで、地域との関係構築を進めてください。また、担当地域では現在民生委員の欠員が発生しているため、担い手確保に向けて地域ケアプラザとしてできることを検討し、取り組んでもらうことを期待します。指定候補者の小計の得点は、いずれも最低制限基準である60％を上回っているため、選定委員会として社会福祉法人公正会他を指定候補者として選定することを決定する。４　連絡・確認事項　 指定管理者の指定までの流れ等について、事務局より説明した。 |
| 資料・特記事項 | １　資料(1) 横浜市泉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会（第２回）次第(2) 横浜市泉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会名簿(3) 各法人応募書類(4) 応募団体（４団体）に関する各種照会結果について(5) 評価シート２　特記事項　・指定候補者となった法人については、選定委員会委員長から区長へ報告を行い、各法人へ通知する。・選定結果は泉区のホームページに掲載する。・委員会の議事録は議事の要旨を泉区のホームページに掲載する。 |